

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-284(P2006-284A)

【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-178304(P2004-178304)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域内に設けられ、発射された遊技球が流入可能な入賞口を有した可変入賞装置と

前記可変入賞装置に設けられ、前記入賞口に対して姿勢を変化させることで前記入賞口に遊技球が流入する確率を変更する第1可動部材と、

前記可変入賞装置に前記第1可動部材とは別体にして設けられ、前記第1可動部材の前面側を遮蔽した状態で前記第1可動部材と一緒に姿勢を変化させる一方、前記第1可動部材とは独立して姿勢を変化可能な第2可動部材とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第1可動体および前記第2可動体の姿勢をそれぞれ個別に変化させるべく作動する駆動手段と、

遊技の進行状態に応じて前記第1可動体の姿勢と前記第2可動体の姿勢とを互いに異なる様で変化させるべく前記駆動手段の作動を制御する可動体制御手段とをさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

遊技領域内に設けられて遊技球が入賞可能な始動口と、

前記始動口に遊技球が入賞したことを検出する入賞検出手段と、

前記入賞口を通じて前記可変入賞装置に遊技球が流入したことを検出する流入検出手段とをさらに備え、

前記第1可動部材は、通常は閉塞された状態にある前記入賞口を開放する様で姿勢を変化可能であり、

前記可動体制御手段は、前記入賞検出手段の検出結果に基づいて前記駆動手段の作動を制御し、前記第1および第2可動部材の姿勢をともに変化させて前記入賞口を開放する一方、

前記流入検出手段により遊技球の流入が検出されてから所定期間内に前記検出手段により前記始動口への入賞が検出された場合、前記第2可動体の姿勢だけを変化させて前記第1可動部材により前記入賞口が閉塞された状態を保持することを特徴とする請求項1乃至2に記載の遊技機。